

安心・安全な住みやすい大牟田市を目指して



新型コロナ ワクチン 3回目接種

問 3回目のワクチン接種について、間隔を短縮するとの首相の発言もあり、接種時期が早まる可能性があるが、体制整備や準備はどうか。

答 市としては、国の動向などを注視するとともに、適切な情報発信に努め、市民が安心して安全に接種できるように取り組んでいきたい。

おくやみコーナーの設置

問 多岐にわたる死亡に関連する手続きをワンストップで案内するおくやみコーナーの設置について聞きたい。

答 死亡に関する手続きは多岐にわたるため、少しでも御遺族の負担を軽減するため、必要な市役所内の手続きをワンストップで案内するおくやみコーナーを設置する。

手続の流れについては、死亡届の提出の際に、必要な手続等が記載されている「おくやみハンドブック」を御遺族に渡して、利用予約をしてもらう。そして、職員が事前に対象手続きを洗い出しておき、来庁時に聞き取りを行い、必要な手続の確定とともに、申請支援システムを使って手続に必要な届出書を作成し、窓口の場所を案内するものとなる。

災害に強いまちの構築

問 新開町及び健老町地区は冠水が顕著だが、今回、同地区で行われる主な工事内容は。

答 新開町地区は、雨水を大牟田川へ直接排水する新たな排水管の整備を行うとともに、有明海の潮位が高いときに強制的に排水するポンプの整備を計画している。なお、ポンプの排出能力は1分間に25トンのものを予定している。

健老町地区は、道路排水が流れ込む水路の断面が不足しているため、水路を拡幅する予定。

マイナンバーカードの 新規取得

問 国がマイナンバーカードの利活用を掲げているため、新規取得が増加すると思うが、今後の対応について聞きたい。

答 本市のマイナンバーカードの交付状況は、令和3年11月1日時点で4万3,807枚交付しており、交付率は39.1%となっている。

現在、申請受付、交付体制の整備を検討しており、年度内に運用を開始する24時間365日交付予約ができるシステム等による円滑なカード交付を推進したいと考えている。



マイナンバーカード

補正予算と市長の政治姿勢

問 新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が日本でも確認され、経済の回復が心配であるが、市政のトップとしての市長の思いを聞きたい。

答 世界における新たな変異株の広がりなど、第6波への懸念もあることから、今後も気を緩めることなく、市民生活や地域経済の活性化に精いっぱい取り組んでいく。

事業者支援の取組状況

問 現在の事業者支援について、取組状況を聞きたい。

答 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者には、国・県の支援金に市独自の上乗せを行い、まだ国・県の支援がなかった段階においても飲食店などへの家賃補助を行うなど様々な支援を行ってきた。

また、地域の商品券も切れ目なく発行いただき、市内での消費増の取組も進めるとともに、中小企業の新商品開発などにも支援を行っている。